

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2003-207007(P2003-207007A)

【公開日】平成15年7月25日(2003.7.25)

【出願番号】特願2002-8349(P2002-8349)

【国際特許分類第7版】

F 16 H 15/38

【F I】

F 16 H 15/38

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月22日(2004.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記変位軸の枢支軸部には、前記第二ラジアル軸受の前記枢支軸部の軸線方向への移動を規制するストップ部が前記枢支軸部に一体に形成されていることを特徴とする請求項1または2に記載のトロイダル型無段变速機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

また、本実施の形態では、パワーローラ8の挿入孔8bの開口を塞ぐ底板部41を設けているので、挿入孔8bを貫通孔にした場合に比べて、パワーローラ8の変形が抑制される。したがって、スラスト軸受26の玉29にかかる荷重が略均一となるため、スラスト軸受25における動力伝達の損失が低減し、スラスト軸受26による動力の伝達が円滑に行われる。

また、パワーローラ8の変形が抑制されるので、駆動時に入力ディスク2および出力ディスク4と、パワーローラ8との接触点の位置がずれ難くなるため、入力ディスク2から出力ディスク4への動力伝達の損失が低減し、入力ディスク2から出力ディスク4への動力伝達が円滑に行われる。

さらに、パワーローラ8の変形の抑制に伴って挿入孔8bの変形も抑制されるので、この挿入孔8bの内周面と第二ラジアル軸受25とが略平行な状態となり、挿入孔8bの内周面と第二ラジアル軸受25とが略均一に接触する。したがって、挿入孔8bに対する第二ラジアル軸受25の抵抗が小さくなるため、第二ラジアル軸受25における動力伝達の損失が低減し、第二ラジアル軸受25による動力伝達が円滑に行われる。